

平成27年度

小・中学生フォーラム in 淀橋第四小学校



新宿区では、毎年、小・中学生と区長が意見を交換する「小・中学生フォーラム」を開催しています。このフォーラムは、子どもたちの意見を区の施策の参考にするとともに、子ども自身が新宿のまちに関心と愛着を持ち、区政に積極的に参加することを目的とするものです。

10月20日(火)は、淀橋第四小学校(北新宿3-17-1、校長：権田伸子)の6年1組22名、2組21名が、「東日本大震災から学ぶ」をテーマに、児童たち自身の司会で、4月から総合的な学習の中で学んできた内容について発表を行い、それらを基に吉住健一区長と意見交換をしました。

はじめに、被災した子どもたちが書いた作文を読んだり、被災地でのボランティアに参加した方からの体験談を聞いたりして、学び深めてきたことやそこから新たに発見した課題などを述べました。次に、東京都教育委員会から配付された「防災ノート」に関連して、新宿区がどんな取り組みをしているのかを調べていく中で、自分が感じたことや気づいた問題点を発表しました。そして、学習の中で行ってきたインタビューや話し合い活動を通じて出てきた防災上の問題として、「新宿区内の防災意識・認知度が低いこと」を挙げ、それについて自分たちができること、新宿区にお願いしたいことの2点を柱として、防災意識向上のための提案をしました。

児童たちによる発表の終了後、吉住区長より発表についての講評と、新宿区の防災に対する取り組みなどの紹介がなされました。

その後、児童と吉住区長との意見交換が行われ、大きな声ではきはきと、児童たちは吉住区長へ質問を投げかけ、区長も児童たちの質問に対して一つひとつ丁寧に答えていました。

フォーラムでは、総合的な学習の時間にじっくりと取り組んできた効果が十分に発揮され、児童全員が発表や質問を通して、フォーラムに積極的な姿勢で臨んでいました。

最後に、吉住区長と担任の先生を含めた各クラスでにぎやかに集合写真。

今回のフォーラムも終始元気な声が響いていました。

